



保健センターで開催されている健康教室のようす

高齢化の進展

平成17年10月現在の65歳以上の人口は2万2,875人だったのに対し、平成24年10月現在では2万5,610人に増加しました。総人口に占める65歳以上の割合を高齢化率と言います。平成24年10月は27・5%で、全国の高齢化率24・1%と比較して高山市の高齢化率は国を上回っています。

【図1】

要介護(要支援)

認定者数の増加

高齢者数の増加に伴い、介護サービスを利用する際に必要となる

シリーズ

介護保険

・・・第1回・・・

高山市の介護保険の現状

高齢化の進展に伴い、要介護高齢者の増加や介護期間の長期化など、介護ニーズはますます増える一方、核家族化の進行や介護する家族の高齢化など、要介護高齢者を支えてきた家族をめぐる状況も変化しています。

高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みを、国は介護保険制度として平成12年に導入しました。来年度の制度改正の動きに合わせ、市でも「高山市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画」の策定に取り組んでいます。

広報たかやまでは、介護保険の現状や直面する課題などを1年かけて全5回にわたり紹介していきます。今月号は現状や制度についてです。

ぐ効果的な介護サービスの利用と、将来も元気な生活が送れるよう介護予防に取り組むことが重要です。

また、平成25年9月現在の認定率(65歳以上の被保険者数に占める認定者数の割合)は18・2%と県内で4番目に高い数値となっています。【表1】

増加する

介護サービス給付費

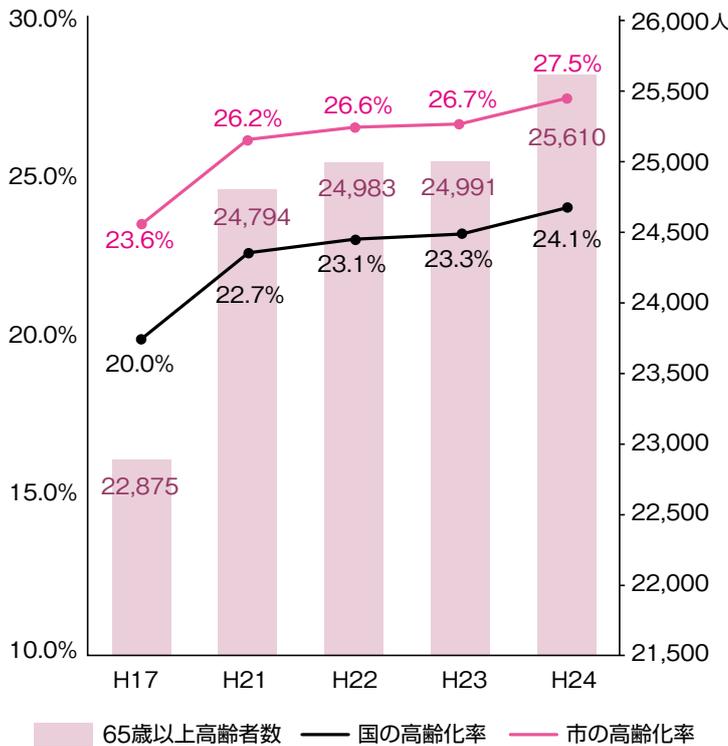
介護サービスを利用された場合は、費用の1割は自己負担、残りは

要介護(要支援)認定を受けられている方の人数(＝認定者数)も増加しています。

過去5年間(平成20～24年)の推移では、認定者数は4,119人から4,637人と518人増加しており、特に要介護1の認定者数は589人から931人と342人増加しています。【図2】

近年は、軽度(要支援1、要支援2)と重度(要介護4、要介護5)の認定者数の伸びが減少しているのに対して、中度(要介護1～要介護3)の認定者数が増加しているため、認定者の重度化を防

【図1】65歳以上の高齢者数と高齢化率の推移



各年10月1日現在 国の高齢化率は「高齢社会白書(内閣府)」より